

県民協働の取り組み自己チェックシート（振り返り後）

<p>基本項目</p> <p>記入者氏名：政策監 G（広聴・調査担当）志波、佐賀県CSO推進機構 野口</p> <p>事業名：「さが元気ひろば」（県民総合相談・情報提供窓口）及び「受付案内」業務委託事業</p> <p>事業内容：さが元気ひろば・受付案内業務</p> <p>行政担当課：政策監 G</p> <p>CSO名：NPO 法人佐賀県CSO推進機構</p> <p>協働はいつ開始されましたか。</p> <p>1. 予算案作成前から 2. 予算決定後、企画の段階から 3. 実施段階から</p> <p>4. その他（公募を行い、受託団体が決定してから（平成 19 年 9 月～））</p> <p>協働の呼びかけは、どちらからですか。</p> <p>1. CSO 2. 行政 3. その他（協働化テストでCSOが提案し、その後行政から呼びかけた（公募））</p> <p>協働の形態は何ですか。</p> <p>1. 協働型委託 2. 共催 3. 補助 4. 後援 5. 事業協力</p> <p>県民協働のコーディネーターは同席しましたか。</p> <p>1. 同席した 2. 同席していない（理由 双方希望なし）</p>			
振り返り（評価）項目		行政	CSO
計画段階			
1. 事業の目的を明確にし、共有しましたか。	はい	はい	
2. 成果目標を明確にし、共有しましたか。	はい	はい	
3. 県民のニーズについて話しあい、反映されていますか。	はい	はい	
4. 協働の理由は明確ですか。	はい	はい	
5. ふさわしい協働の形態が検討されましたか。	はい	はい	
6. 協働する相手を選ぶ手法は適当でしたか。 当初から決まっている場合： 当初から決まっていない場合：公募を実施し審査会で受託者を決定	はい	はい	
7. 相互を理解し、対等な関係を築けましたか。	はい	はい	
8. この事業についての事業計画、収支計画をともに作りましたか。	いいえ	いいえ	
9. 協働する期間をともに考えましたか。	いいえ	いいえ	
10. 役割分担を明確にしましたか。	はい	はい	
<p>計画段階で記すべきコメントがあればここに記入してください。</p> <p>5：CSOの提案を受け県において検討</p> <p>8：公募形式のため事業計画は基本的に県が設計（公募要領、業務仕様書）、収支計画はCSOが設計した（事業提案書）。</p>			
実施段階			
1. 役割分担をともに共有し、果たしましたか。	はい	はい	
2. 進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	はい	はい	
3. 課題の発生には、お互い連絡しあい、素早く対応しましたか。	はい	はい	
4. 事業の修正は、お互いに十分議論し、柔軟に対応しましたか。	はい	はい	
5. 事業内容の報告をつくり、公開しましたか。	はい	はい	
<p>実施段階で記すべきコメントがあればここに記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5：CSOは報告のみ。事業実績について概要を公開（県HP） ・CSOは事業提案書及び業務仕様書に基づいて事業を行っている。 ・毎月1回、県と受託団体でミーティングを実施し、課題等について意見交換をしている。 			

成果の把握		
1. 成果目標は達成できたか、お互いに話し合いましたか。	はい	はい
2. 成果目標は達成できましたか。	はい	はい
<p>成果の把握において、記すべきコメントがあればここに記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務の内容が相談窓口及び情報提供であるため、数値的な成果目標はない。利用者サービスが十分にできているか、県・CSO間で随時確認を行っている。 ・利用者アンケートを行い、業務改善に役立っている。 		
課題の抽出		
1. 今後の課題をお互いに話し合いましたか。	はい	はい
<p>課題の抽出において、記すべきコメントがあればここに記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回、県とCSOでミーティングを実施し、課題等について意見交換をしている。 ・CSOでは政策監Gとの「報告・連絡・相談」を心がけ、情報共有を図っている。 		
改善案の作成		
1. 改善案をお互い話し合い、作成しましたか。 <改善案内容のポイント>	はい	はい
2. 今後の官民の役割分担を明確にしましたか。	はい	はい
<p>改善案の作成において、記すべきコメントがあればここに記入してください。</p> <p>毎月1回、県とCSOでミーティングを実施し、改善案等について意見交換をしている。</p>		
総合評価		
<p>自由意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より県民の目線に近づいた対応が可能となった。 ・受託者のアイデアを活かした新たなサービスの提供が可能となった（災害情報用TV設置、公衆無線LANサービスなど）。 		

振り返り（評価）の各項目に「はい」、「いいえ」、「わからない」のいずれかを記入してください。